

## 能登半島地震時の避難所のトイレ状況

大きな災害が発生した際、上下水道の状態によっては普段使用しているトイレ設備が使えなくなることがあります。避難所のトイレ整備や備蓄品の提供は、避難所準備の完了後に行われますが、その準備にはかなりの時間を要します。

トイレはいつ、どのタイミングで必要になるかわからないうえ、我慢が難しいため、各自で災害用トイレを準備しておくことが重要です。



### 備えるトイレの種類

避難所では、トイレがすぐに使えない場合があります。そのため、携帯トイレや簡易トイレなど災害用トイレを備えることが重要です。自宅で備える役立つトイレについてご紹介します。

携帯  
トイレ



- ・既存の洋式便器などに設置する便袋タイプ
  - ・吸収シートや凝固剤を使い、電気や水なしで利用可能
  - ・比較的安価で省スペースで保管できる
- ※どの避難方法でも必要不可欠



携帯トイレ  
1日5回



家族の人数

最低  
3日分  
(できれば1週間分)

簡易  
トイレ



- ・段ボールなどを組み立てて便器として使用するタイプ。※洋式便器がない場合に便利
  - ・凝固剤を使い、水なしで利用できる
- ※トイレが破損した場合や、トイレまでの移動が難しい高齢者や障害者に適している

### 災害用トイレの代替品

災害時にはトイレの使用が困難になることがあります。そのような状況に備え、簡単に導入できる災害用トイレの代替品が注目されています。あらかじめ準備することで、もしもの時の不安を軽減することができます。

❗ 万が一、災害用トイレがないときの、「緊急用トイレ」の作り方をご紹介します。



- STEP 01 便座を上げ、便器を覆うようポリ袋（ゴミ袋）を被せる
- STEP 02 下げた便座の上からもゴミ袋を被せる
- STEP 03 便座の中に、細かくちぎった新聞紙などを入れる  
※吸水性の高いペットシートや紙おむつなどでも代用可

辻総務部副理事  
(防災危機管理課長)

### 市が設置しているマンホールトイレもあります!

断水時にマンホールの蓋を開け、便器と TENT を設置して下水道を利用する災害用トイレ。市内の小中学校に設置予定で、現在は、千里丘小学校、味生小学校、鳥飼北小学校、鳥飼小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第五中学校の9校に設置しています。



マンホール  
トイレ



## 災害用トイレの大切さ × 地域と共に避難所運営

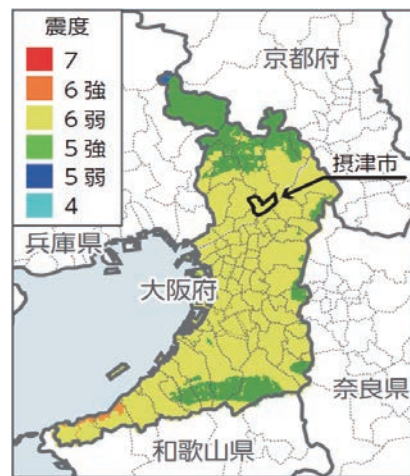
大規模地震が発生した時、トイレの問題は見逃せない課題です。それを解決するのが「災害用トイレ」。さらに、地域で協力し合う力も防災の鍵となります。この機会に、誰にでもできる防災についてぜひ学んでみてください。  
問合せ 防災危機管理課 ☎ 06 (6170) 1518 へ

## 摂津市で起こりうる大規模地震の震度、想定被害



### 南海トラフ巨大地震

#### 震度6弱

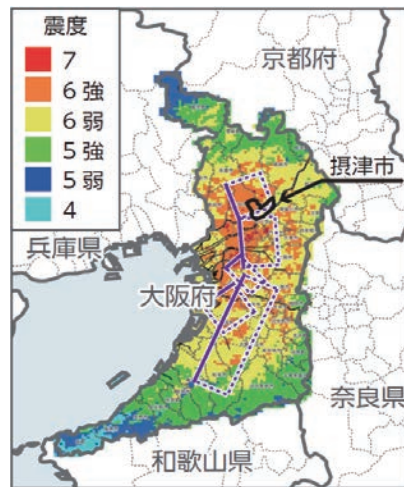


被害想定  
・建物全半壊棟数  
全壊 232 棟  
半壊 2,225 棟  
・死傷者数  
死者 10 人  
負傷者 259 人  
重傷者 25 人  
・避難所生活者数  
4,654 人

出典：大阪府「南海トラフ巨大地震被害想定結果」

### 上町断層帯地震

#### 震度6強



被害想定  
・建物全半壊棟数  
全壊 5,958 棟  
半壊 5,215 棟  
・死傷者数  
死者 112 人  
負傷者 1,101 人  
重傷者 60 人  
・避難所生活者数  
11,328 人

出典：大阪府「地震被害想定結果」

南海トラフ（駿河湾から日向難沖にかけての海底の溝状の地形）沿いで、陸側のプレートが引きずり込みに耐えられなくなり跳ね上がることで発生する地震を指します。おおむね 100 ～ 150 年間隔で繰り返し発生しています。近い将来に発生する可能性があると考えられています。

豊中市～岸和田市に至る断層帯のずれによって発生する地震を指します。近い将来に発生する可能性があると考えられています。摂津市は、最も被害の大きい上町断層帯地震の被害想定を基準として物資の備蓄などの災害対策を進めています。

## 災害に備える防災訓練・講座

### 地域の防災訓練に参加しよう！

地域の防災訓練は、自主防災組織や防災サポーターなど、多くの人が協力して行う大切な取り組みです。この訓練では、災害時の具体的な対応や準備を学べるのはもちろん、普段あまり関わる機会のない近隣住民と交流し、信頼関係を築く貴重な機会となります。

特に若い世代が参加することで、新鮮なアイデアや行動力が加わり、地域全体の防災力がさらに向上することが期待できます。訓練を通じて、大切な家族や友人、そして自分自身を守るスキルや知識を身につけることは、日常生活の安心感にもつながります。

一人ひとりの力が地域全体の災害への備えとなり、より強固な防災力につながります。ぜひ訓練に参加し、みんなで災害に強い地域をつくりましょう。



△ダンボールベッドの組立訓練

△避難所運営を模擬体験し、課題を検討して対応力を養うHUG訓練

### 防災サポーターになろう！

防災サポーターは、平常時には防災対策や啓発活動を行い、災害時には避難所運営や行政との連携を通じて地域防災の要として活躍します。特定の市民だけでなく、より多くの人が参加することで災害に強い地域づくりにつながります。養成講座を通じて防災の知識や技術を深め、みんなで大規模災害に対する備えを強化していきましょう。

### 防災サポーター養成講座

第1回 開催日：1/17 ④ 10:00～11:30

場 所：市役所3階・301会議室

第2回 開催日：1/24 ④ 10:00～11:30

場 所：地域福祉活動支援センター  
4階・研修室

申込み：12/19 ⑤まで・☎06(6170)1518

または申込フォーム（下記QR）

持ち物：筆記用具、防災士証の写し（※）、防災士の取得費用を証明する書類（※）

※防災士資格取得費用の補助希望者のみ（予算の都合により定員に上限あり）

※防災士資格取得者は第1回の講座受講のみで「防災サポーター」になれます



△防災サポーター



△防災士



△申込フォーム

丹羽総務部理事  
（防災危機管理課担当）

## 自宅に備えておくべき非常用持出品

非常用持ち出し品とは、避難時に持ち出す物のことです。普段持ち歩くものの意外はリュックに詰めておくなど、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

### 飲料水・食料

□飲料水 □非常食

### 日用品

□携帯トイレ □トイレットペーパー

□ウェットティッシュ □ナイフ

□マッチ・ライター □歯磨きシート

□アルミホイル □食品ラップ

□簡易食器（割り箸、紙皿）

□ホイッスル（笛） □筆記用具

□メガネ・コンタクトレンズ

□ポリ袋 □布製ガムテープ

### 情報機器など

□スマートフォン □携帯ラジオ

□懐中電灯 □乾電池

□モバイルバッテリー

### 衣類など

□タオル類 □軍手・手袋

□衣類（上着・下着・靴下）

□レインコート □寝袋

### 感染症対策用品

□マスク □アルコール消毒液

□スリッパ □体温計

### 救急医療品

□絆創膏・包帯・ガーゼなど

□常備薬

### 貴重品

□現金（小銭） □運転免許証の写し

□預金通帳の写し・印鑑

□クレジットカードの写し

□マイナンバーカードの写し

### 乳幼児・妊産婦がいる家庭

□おむつ・おしりふき

□粉ミルク・使い捨て哺乳瓶

□ベビーフード・おもちゃなど

□授乳ケープ □母子健康手帳

□脱脂綿・ガーゼなど

### 高齢者・要介護者がいる家庭

□持病がある人の薬・お薬手帳

□大人用おむつ □携帯用杖

□おかゆなどの非常食 □補聴器

□入れ歯・入れ歯用洗浄剤

### ペットがいる家庭

□ペットフード □リード

□ゲージ（扉・屋根付き） □常備薬

□簡易トイレ・ペットシート

⚠️ 持ち運べるリュックの重さの目安は、男性 15kg、女性 10kgといわれています。

## 地域と共に行う災害時の避難所開設・運営

行政職員も被災者である一方、発災時には多数の業務を担う必要があります。そのため、避難所運営には地域の協力が不可欠です。限られた職員では避難誘導や区画整理などが困難なため、地域と連携し運営体制をあらかじめ確立し、各避難所の共通ルールを地域の皆さまに広く周知しておくことが重要となります。右記QRから、避難所運営マニュアルを確認できます。

避難所運営  
マニュアル



### 避難所を開設するための準備

- ・避難者の誘導と区画整理・トイレ整備・物資保管
- ・体調不良者、要配慮者、ペット専用スペースの設置
- ・更衣室、授乳室、ゴミ捨て場の設置
- ・特設電話、Wi-Fi、情報掲示板、配布スペースの準備など

### 避難所運営における多様な協力者

⚠️ 円滑に避難所を開設・運営するためには、自主防災組織、防災サポーター、ボランティア、避難者などの協力が必要です。



「災害ごみの出し方」を  
家族で話し合い、防災グッズと  
一緒に情報をまとめて備えよう！

しっかりと分別が  
できている



地震や大雨などの災害では、壊れた家具や家のものなど、たくさんのごみ「災害ごみ」が出る場合があります。これらの片づけは、まちの復旧にとっても大切な作業です。災害時でも、ごみをきちんと分けて、決められた方法で出すことが、スムーズな片づけにつながります。災害の大きさによっては、ごみの処理が長く続くこともあるため、あらかじめ分別方法を知っておくことが大切です。



※詳細は下記QRへ  
問合せ 環境業務課へ

被災から普段のくらしへ。  
災害ごみの出し方を  
知っていますか？